

# 混沌のつくり方

今回は“混沌のつくり方“について話をしていきます。

ダイアログの場に関わっていて、その場で生まれた混沌が流れるようにまとまっていく、たまたまそんな体験をしてしまった私は、運が良かったのか悪かったのか、混沌をつくることへの怖れなく、今に至ることができました。

今回はつくり方としてお話をしますが、そこに必要な要素としては、今日まで投稿してきたダイアログの教科書の内容を合わせた応用的なものです。特に関係するとすれば、『6. 問いをもつこと』『7. 問いの持ち方』にある問いに関する部分と『19. 沿う』をおさらいしていただけるといいかと思います。

その場に問いをつくり、それぞれに問いを持ってもらい、思っていることを自由に話せる安心の場をつくり、終わりにふり返ること、そういった流れは WORD JUNGLE と同じで特に何か新しいことが登場する訳ではありません。

では何が違うのか。その違いはあなた自身の中にあり、『何を生み出すために混沌をつくるのか』その答えによって生まれてくる混沌の大きさが違います。人は理解できる状態に安心を感じやすいですし、混沌を望まない人も多いかと思います。

ですが、『秩序が壊れると混沌が生まれ、その混沌から新しい秩序が生まれる』原子で表されるこの流れは、人と人のコミュニケーションにも応用できる話です。何か新しい秩序が生まれる前には必ず混沌が存在しているのです。

混沌を生まざるに出来るアイデアは過去の経験からきているものが多いです。『過去にこんな対応をしたからこれで解決できるだろう』といった思考の流れで、経験者がアイデアではなく事例をその場に与える枠の中の話です。

もし仮に、イノベーションを起こすためのアイデアを生み出すとしたら、もともとある枠の少し外側、ダイアログの場をつくる人にも、その場に参加した人にも、最初は思いついていなかった部分のアイデアです。

そしてそこで生まれたアイデアを実践してこそイノベーションが実際に起きていき、何らかの変化がもたらされます。そうすれば、もともとあった枠も、結果的に少し大きなものに変化していくはずで

私にとって、『わからない = 知らない世界』であり、『知らない世界 = 世界を広げる可能性』です。なので『わからない = 世界を広げる可能性』と表すこともできます。

その場で起きていることがわからない時にこそ、人に対して自分がどんなスタンスで接したいのか、それがわかるのかもしれませんが。例えば、『教える人』として場に関わりたいのであればわからないことは立場を失うものと考えられる可能性があるので、『わからない = 怖い』と表されるかもしれません。

他に例をあげると、『促す人』としてその場に関わるのであれば、わからないこともその場を促すためのチャンスとして捉えられ、よりの場を促していくきっかけに活かされていけば『わからない = 世界を広げる可能性』として表されるはずで

結局、その場を信頼できた分だけ、その場の混沌は広がります。

別の言い方をすると、その場の個性や発言のすべてを受け入れることができれば、その場が多様な場として自然と混沌が広がっていきます。その場に参加する人たちの本音が表れれば表れるほど、それぞれの個性が輝いて、それは自然と混沌へとつながっていくのです。

『17.受け入れる』でも書きましたが、発言した人に従うのではなく、どんな意見や個性でも『腑に落ちる』状態で自分の腹に落とし込み、その場に想いを巡らせることです。

そんな場になればなるほど場に発散される想いは広がって、数多くの選択肢の中から、その場の目的に適した解を選ぶことができます。『問い』がきちんとあれば自然とそこに戻ってくるので。それが最初にお話した『その場で生まれた混沌が流れるようにまとまっていく』という流れです。

とはいっても、混沌を生み出すこと、自分の想像もできない場を生み出すことはとても怖いことなのかもしれません。『失敗したらどうしよう』とか、『わからないことだらけで、パニックになったらどうしよう』とか。

それはそうですね。何かが生み出されるということは事前に何が起こるかわからないことで、ここで想定できればすでに場をつくる人の頭の中にあったものになります。それだと『促す』というよりは『導く』なはず。だからその場の過程は仮に描けても、内容は事前には描けない、混沌が生まれる場はそんな場なのです。

もし失敗を怖れるのであれば、どうなったら失敗なのかを事前に決めてみることをお勧めします。失敗の基準を明確にして場に挑んでみてください。例えば...すみません、考えれば考えるほど失敗とは何なのか私にはわからなくなりました。笑

ダイアログの場に混沌をつくり出すこと、それを繰り返していく流れで結局、自分がどうしたいのか、それが試されることとなります。その場をコントロールしたいのか、舵だけきりたいのか、もしくは自由に話してほしいのか。

ぜひあなたのつくり出すダイアログの場を信頼して、その場で起きることたちすべてに目を向け、耳を傾け、触れてみて、あなたのつくりたいダイアログの場をカタチにしてみてください。

どんな混沌が生まれるのか。その中でどんな化学変化が目の前で起きるのか。そこに集う人たちの思考の枠を超えた思いもよらない場があなたのことを待っていますよ。

読み終えた感想や質問、実践のシェアなど、もしよろしければ、下記の URL から「みんなのダイアログ」へのご投稿をお願いします。わかることもわからないことも、またそこで一緒にダイアログしていきましょう。

みんなのダイアログ

<http://cobaken.net/webdialog/index.php?qa>